



11月定例会にて一般質問



山岸喜昭 環境産業観光委員会

長野県の発展と小諸のさらなる飛躍を目指して!

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい初春を迎えられた事とお喜び申し上げます。日頃の温かい御支援と御指導を賜ります事から感謝申し上げます。

さて、長野県を取り巻く状況は、少子化の進展により人口の減少が続いています。国や県、市町村は、地方創生に取り組み一部は地方回帰の動きがみられるものの、首都圏への人口流失が依然として進んでいます。

このような人口減少、特に生産年齢人口の減少は、地域社会や産業の担い手不足、需要の減退につながり、地域活力の低下を招きます。

人口減少に歯止めをかける為には、社会保障やインフラ整備など持続可能な仕組みづくりや、若い世代が安心して働き、結婚、出産、子育てができる地域づくりが求められています。

また、人生100歳の時代を迎え、本県の平均寿命は全国有数の長寿県であり、医療や介護などの充実を図り、多様な人材が定着する環境づくりが必要であり最重要課題と捉えているところであります。

小諸市におきましては、市庁舎、市民交流センター、図書館整備が進み、昨年12月には、東信地域住民待望の浅間南麓こもろ医療センターが開院され、いよいよ今年には故郷小諸が生まれ変わり、新しい街づくりのスタートの年を迎えました。取り巻く環境は山積みではありますが、今までに増して小諸の魅力発信し、行政との連携をより一層高めて「さらなる飛躍」の実現に向けて取り組んで参ります。

皆様方におかれましては、今年も明るく健やかに益々の御活躍、御健勝を心から祈念申し上げます。また、年頭の御挨拶といたします。



11月定例会 一般質問 議会報告 抜粋

信州ワインバレー構想について

【山岸】ワインブドウの栽培や、ワイナリー経営等に挑戦する、意欲ある就農者への施策は?

【農政部長】平成25年度から「ワイン生産アカデミー」を開催し、新規参入希望者を支援。平成28年度まで156名が受講し、40名の方がワイン用ブドウ栽培を始めています。また、ワイナリー設置を検討する方には、ワイナリー経営者に里親になっていた、醸造研修を行う制度を産業労働部において実施。ワイナリー設置にあたっては、6次産業化事業補助金、制度融資等の活用について、地域振興局や普及センターにおいて相談に応じています。

【山岸】NAGANOワインの、国際的知名度はまだこれから。海外戦略は?

【産業労働部長】今年度、世界的に著名なワイン専門家を2〜3月に招へい致します。10社程度のワイナリーを巡り、試飲と事業者との意見交換を行い、NAGANOワインの品質等を紹介し、世界に発信していただく。また、国際ワインコンクールへの出品促進のため、信州大学と協力しコンクールの審査特性を分析、それに応じたプレゼン作成の支援をし、インバウンドによる需要拡大も推進していきます。

【山岸】銀座NAGANOを活用したNAGANOワインの消費拡大に向けての、プロモーション活動の現状と、今後の展開は?

【観光部長】銀座NAGANO1階のカウンターでは、各種NAGANOワインが気軽に味わえ、購入のきっかけづくりを行っています。2階では、毎月県内各地のワイナリー経営者等をお迎えし、セミナーを実施。これをきっかけに本県への現地体験ツアーも多数企画、開催されるに至っています。また、東京オリンピック・パラリンピックは、NAGANOワインを国内外に向けてPRするまたとない機会。首都圏での外商活動も強化し、NAGANOワインの消費拡大に努めていきます。

※詳細は、県議会ホームページをご覧ください。

小諸市消防出初式 (1月7日)

消防団員の皆様の日頃の活動に、厚く御礼と敬意を申し上げます。自然災害が多発する中、団員の役割は増す一方で、その数は減少傾向にあります。女性団員も併せて団員増加策を探りながら、現在の団員の安全確保も含め、住民の応急手当のサポート技術を身につける等、質的向上を図っていきます。



▲平成30年度予算編成と当面の課題に関する提案書を会派にて提出



婦恋小諸間県道昇格促進期成同盟会にて長野県建設部・群馬県知事に要望書提出



▲林業振興研究会にて林業活性化について知事要望

佐久地域の農業経営の方々との意見交換会(12月20日)



▼年末年始に向けて交通安全運動(12月15日)





「信州・新風・みらい」は、11月22日の11月定例会開会前の午前、昨



冒頭、下沢代表は、「知事は2期目最終年度

であり、5か年計画の成果を期待したい。大北問題の信頼回復は急務だ。」と強く訴えました。

選挙区等調査特別委員会は、11月10日から12月7日まで延べ6回の委員会を開催しました。

「下伊那郡の北部を定数1の選挙区とし、西部を飯田市と合区して定数3の選挙区とする

2月定例会日程(予定)
 2月16日 開会
 2月23日 代表質問
 2月26日 3月2日一般質問
 2月26日 3月2日 委員会審議
 2月26日 3月2日 採決
 2月26日 3月2日 役員選任
 2月26日 3月2日 閉会

年より10項目多い280項目に及ぶ「平成30年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、下沢代表が阿部知事に手渡しました。

各議員からは、鉄道・高速バス対策や子どもの貧困対策、保健医療政策の推進、「観光立県長野」の再興、現地機関の適正な人員配置、防災への再整備、いじめ防止対策などの積極的な取り組みを要望しました。

選挙区等調査特別委員会は、11月10日から12月7日まで延べ6回の委員会を開催しました。

「下伊那郡の北部を定数1の選挙区とし、西部を飯田市と合区して定数3の選挙区とする

2月定例会日程(予定)
 2月16日 開会
 2月23日 代表質問
 2月26日 3月2日一般質問
 2月26日 3月2日 委員会審議
 2月26日 3月2日 採決
 2月26日 3月2日 役員選任
 2月26日 3月2日 閉会

平成30年度予算編成と当面の課題 280項目

阿部知事に要望

進めよう議会改革!!

飯田市と合区して定数4とする案」を全会一致で決定しました。

年頭ご挨拶

代表 下沢順一郎

直し議論がありました。が、いずれも県民視点で取り組んでまいりました。

今年、新5か年計画がスタートし、夏には県知事選挙が行われます。私たちは、先に知事に提出をした280項目に及ぶ「平成30年度の予算編成と当面の課題に関する提案書」をもとに、県民の皆様への負託にこたえられるよう、任期最終年度となる本年も会派一丸となって邁進する決意です。本年も、どうぞよろしくお願いたします。

新年を迎え、さらなる県政発展と県民生活向上を目指し決意を新たにしています。

昨年、大北森林組合の補助金不適正受給問題の追及や森林づくり県民税継続の可否、新5か年計画の策定、消防防災ヘリ墜落事故対策などのほか、県議会では選挙区・定数見直し

11月定例会

16億円余(債務負担10.1億円余)を補正

森林づくり県民税5年間継続へ

11月22日から17日間の会期で開催された11月定例会では、総額16億589万円の一般会計補正予算案や森林づくり県民税条例の一部改正案など知事提出28議案及び追加提出された人事案件2議案、7件の専決処分報告を審議、いずれも原案どおり可決・承認しました。

このほか、議員提出4議案及び議会最終日に委員会から提出された2議案を可決しました。この内、「長野県議会議員の定数及び選挙区に関する条例の一部を改正する条例案」は、飯田市や下伊那郡区選出議員など5人が反対、3人が退席する中、賛成多数での可決となりました。

4日間開催された一般質問では、議員30名(我が会派は9名)が演壇に立ち、大北森林組合等補助金問題や次期総合5か年計画、学びの改革、働き方改革、森林づくり県民税などを質しました。

補正予算のポイント

- ◎台風21・22号による災害への対応
 - 災害復旧事業 10億296万円
 - 消防防災航空体制の再構築 債務負担1億1401万円
 - ヘリコプター機体の借入れ 4414万円
 - 県立武道館の整備 債務負担2億5984万円
- 上や操縦士等の派遣受入 債務負担1億1401万円
- 県単独公共事業(道路補修等) 債務負担15億9000万円
- 多目的利用ができる武道館の整備(建築面積1万4000㎡) 債務負担57億1115万円
- ◎東山魁夷館の改修
 - エレベーター増設、多目的トイレ等の設置、内装・外壁の補修など 債務負担8億4775万円
- ◎暮らしを支える基盤づくり
 - 補助公共事業(新年度実施の舗装・橋梁の補修、道路改築を前倒しして発注) 債務負担14億8100万円